

2025/02/26 [for version 5.0]

MateriApps LIVE! の設定

MateriApps LIVE! 開発チーム

MateriApps — 物質科学シミュレーションのポータルサイト

- ・公開ソフトウェア(アプリケーション)を核としたコミュニティ形成をめざして



2013年5月公開

- ・ 320以上の物質科学アプリケーションやツールを紹介
- ・ 「やりたいこと」からアプリケーションを検索
 - ・ 検索タグ：「特徴」「対象」「手法・アルゴリズム」
- ・ 開発者の声を利用者に届ける
 - ・ 開発者情報、アプリの魅力・将来性
- ・ 講習会情報・web講習会・更新情報
- ・ キーワード解説、アプリコンシェルジュ、レビュー記事
- ・ 月間 17,000+ ページビュー、6,500+ ユニークユーザ (2023年度実績)

MateriApps 掲載アプリケーション

- 320以上の物質科学アプリケーションやツールを紹介

密度汎関数法

AkaiKKR☆

OpenMX☆

xTAPP☆

ABINIT☆

...

量子化学

FMO☆

SMASH☆

GAMESS☆

DC☆

...

分子動力学

MODYLAS☆

Gromacs☆

ERmod☆

MDACP

...

格子模型

ALPS☆

DSQSS☆

BLOCK

DMRG++

...

連続体シミュレーション

ANSYS Multiphysics

Octa ...

データ解析

CLUPAN☆

phonopy☆

可視化

fu☆

TAPIOCA☆

その他、データベース、統合環境、
機械学習、量子計算

☆ MateriApps LIVE! 収録 (一部予定) アプリ

MateriApps 活動の目的

- 開発者側からの問題点

- 有益なプログラムはもっと使われるべきだが、多くのソフトは研究室内にとどまって終わる
- 公開・情報発信には手間がかかる
- アプリ開発を成果として主張しにくい(指標がない)



開発者

- 利用者側からの問題点

- どんなプログラムがあるのかよくわからない
- インストール・使い方について知りたい
- 開発者の活動(特に講習会情報)をもっと知りたい



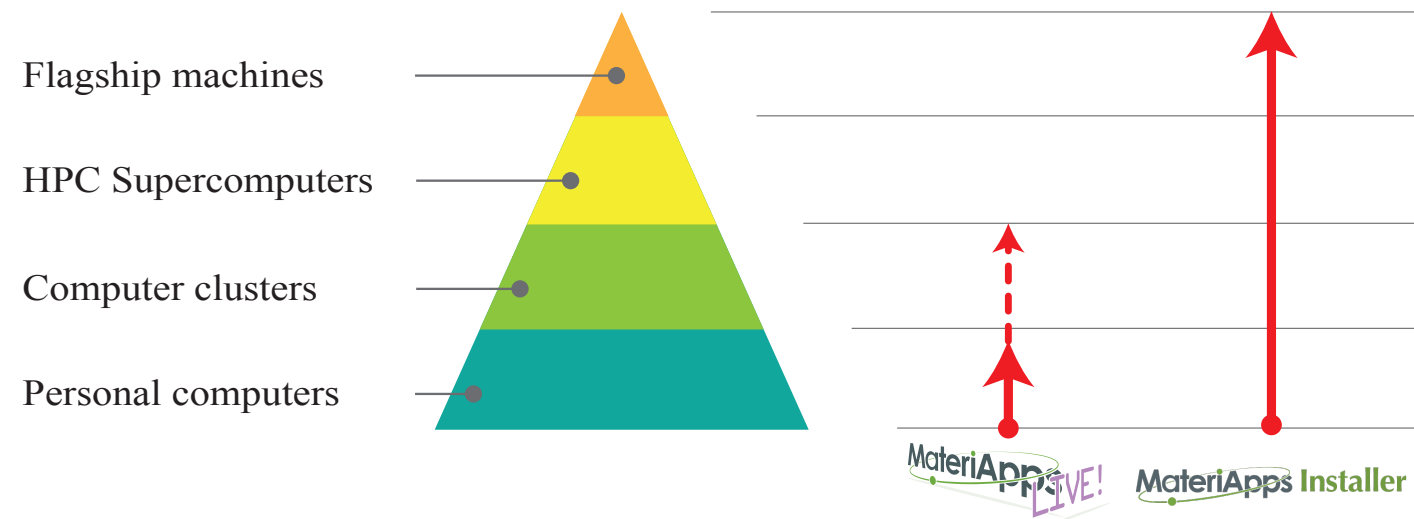
利用者

- MateriApps の目的

- アプリの見える化を通じて開発者と利用者をつなぐコミュニティを育てる

アプリケーション普及にむけた三本柱

- アプリの情報発信
 - ポータルサイト **MateriApps** (<https://ma.issp.u-tokyo.ac.jp>)
- 個人・研究室レベルでのアプリ利用の支援
 - **MateriApps LIVE!**
- スパコン上でのアプリ利用支援
 - 富岳や国内主要スパコンへのアプリのプレインストール **MateriApps Installer**

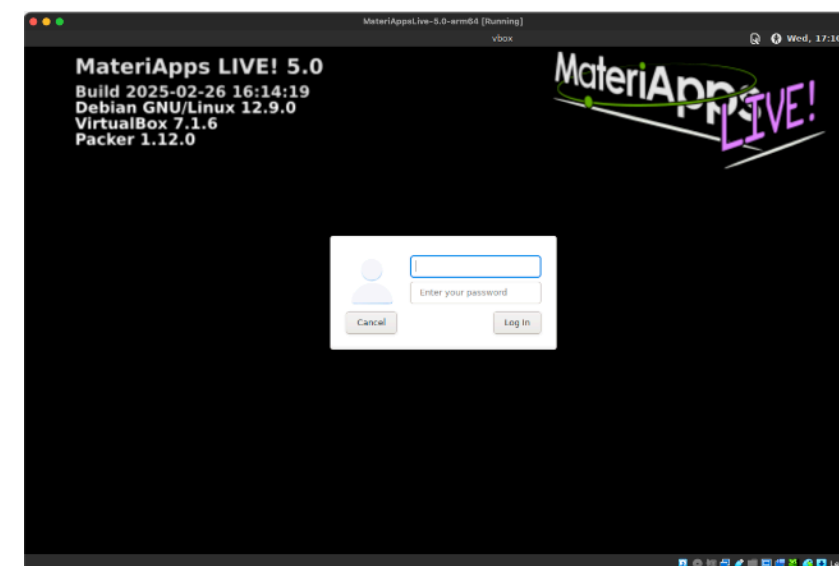


- インストールや入力ファイルの準備における「壁」を解消
- 計算科学の専門家だけでなく、実験家や企業内の利用、教育活動における活用へ



MateriApps LIVE! とは？

- 仮想マシン(VirtualBox/Docker)上で動作するDebian Linux
 - Windows, Mac (Intel/Apple Silicon)で利用可
 - インストール作業なしで物質科学アプリを実行できる
- バージョン5.0公開 (2025年2月)
- MateriAppsで紹介している公開アプリ・ツールを収録
 - abinit, AkaiKKR, ALAMODE, ALPS, CONQUEST, Feram, DCore, DSQSS, HΦ, LAMMPS, mVMC, OCTA, OpenMX, Quantum ESPRESSO, PHYSBO, SMASH, TeNeS, xTAPP 等
 - OVITO, ParaView, Tapioca, VESTA, XCrysDen...
 - CASINO, GAMESS, VMD用インストーラー
- MateriApps LIVE! サイトからダウンロード可能
 - 2013年7月以来、15,000+コピーを配布



MateriApps LIVE! が役に立つシチュエーション

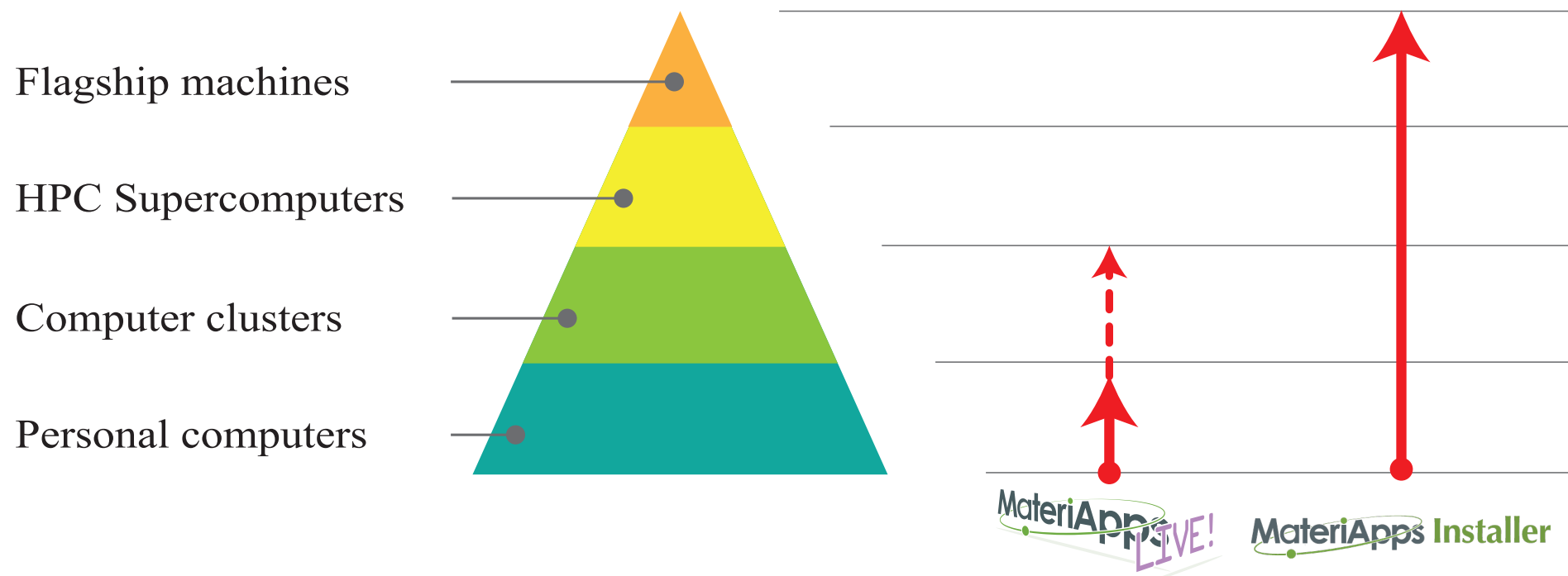
- MateriApps LIVE! を用いた講習会
 - MateriApps LIVE! ハンズオン
 - HΦ、xTAPP、ALPS、DCore、mVMC、ALAMODE、DDMRG、DSQSS、SALMON、CASINO、TeNeS他
- 講義での利用例 (東大、東工大、他)
 - 計算物理学、計算科学概論
 - 計算機実験 (UNIX + C 実習環境、LaTeX、バージョン管理システム)
- 実験研究者・企業研究者による利用
- 計算機科学の研究者による利用
- 最近ではトラブルはほぼゼロ。15分程度でセットアップ完了
- 容易に環境を揃えることができるので、動作確認・トラブルシューティング・ユーザサポートに便利

MateriApps LIVE! による物質科学シミュレーション

- イントロダクション / 準備
- 第一原理計算手法によるバンド計算 (OpenMX / Quantum ESPRESSO / xTAPP)
- 分子動力学法による溶液のシミュレーション (LAMMPS / Gromacs)
- 格子模型シミュレーション (ALPS / HΦ / mVMC)
- 量子化学計算 (準備中)
- <https://github.com/cmsi/MateriAppsLive/wiki/MaLiveTutorial> にリンク集を整備中

もっと大規模な計算をしたい？

- Debian や Ubuntu がインストールされた Linux ワークステーション
 - MateriApps LIVE! の Debian Package が利用可能
 - <https://github.com/cmsi/MateriAppsLive/wiki/UsingMateriAppsInDebian>
 - (Google Colabにもインストール可)
- PCクラスタ、クラウド、物性研や情報基盤センターのスパコン、富岳など
 - MateriApps Installer を利用 <https://ma.issp.u-tokyo.ac.jp/app/268>



VirtualBox 版と Docker 版

- VirtualBox 版

- 利点

- 仮想マシン上で多くの可視化ツール(Ovito, Paraview, Vesta など)が動く
 - 注: Vesta は Windows, macOS Intel でのみ動作

- 欠点

- メモリ使用量が多い

- Docker 版

- 利点

- 2度目以降の起動が高速
 - メモリ使用量が少ない

- 欠点

- 可視化ツールのうち動作しないものがある

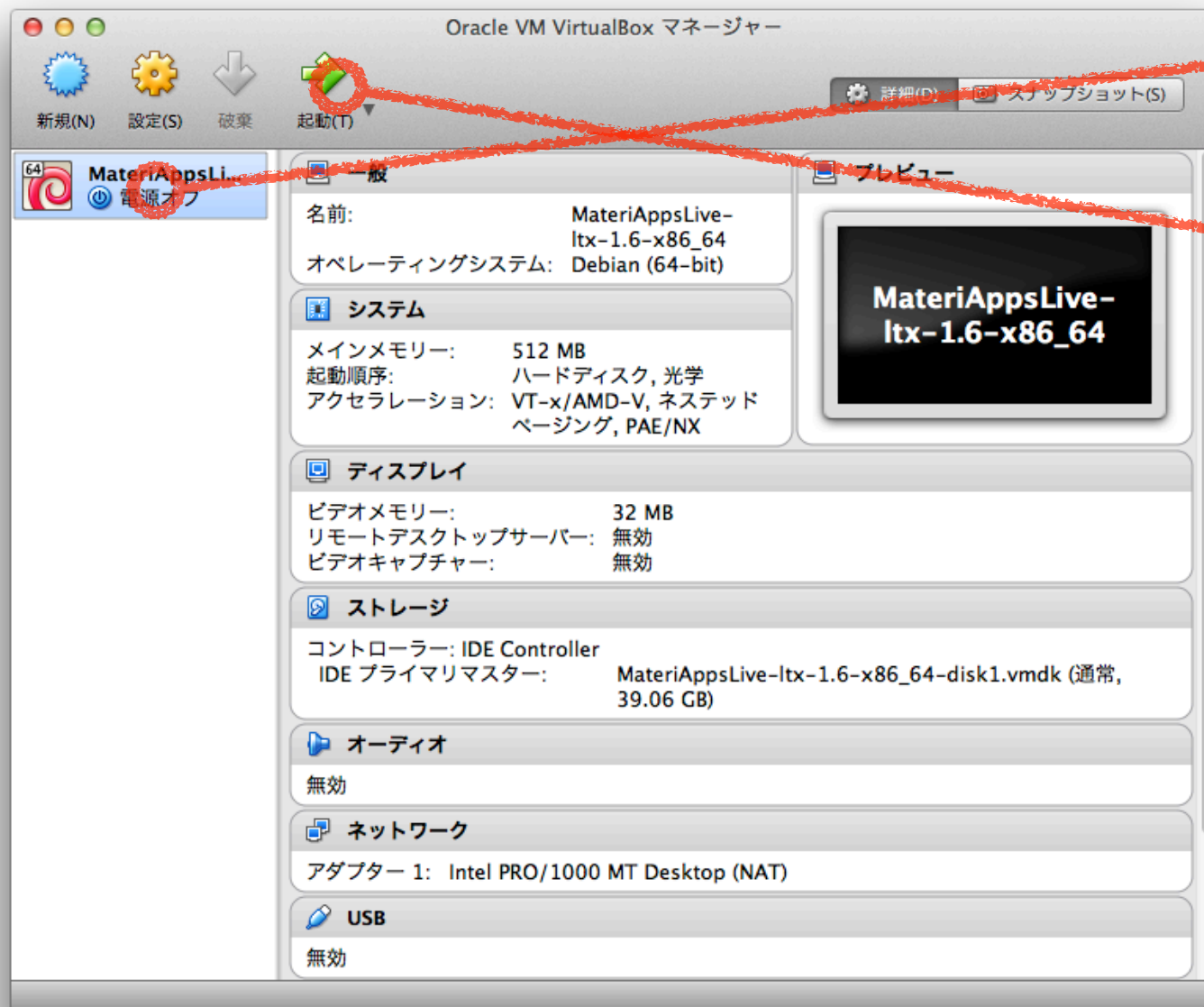
MateriApps LIVE! (VirtualBox版)

- ファイル一式
 - setup.pdf (日本語), setup-en.pdf (英語)
 - このドキュメント
 - <https://speakerdeck.com/wistaria/materiapps-live-noshe-ding>
 - README.html, README-en.html
 - <https://github.com/cmsi/MateriAppsLive/wiki/MateriAppsLive-ova>
 - VirtualBox 7.1 インストーラ: VirtualBox-*-Win.exe (Windows), VirtualBox-*-OSX.dmg (macOS Intel), VirtualBox-*-OSXArm64.dmg (macOS Apple Silicon)
 - <https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads> からダウンロード可
 - MateriApps LIVE! VirtualBox ディスクイメージ: MateriAppsLive-*-amd64.ova (Windows / macOS Intel), MateriAppsLive-*-arm64.ova (macOS Apple Silicon)
 - <https://github.com/cmsi/MateriAppsLive/wiki/download> からダウンロード可

さあ、はじめましょう (VirtualBox版)

- ✓ ファイル一式をダウンロード
- ✓ インストーラをダブルクリックして VirtualBox をインストール
 - Windows版: VirtualBox-*-Win.exe
 - macOS版: VirtualBox-*-OSX.dmg (Intel), VirtualBox-*-OSXArm64.dmg (Apple Silicon)
- ✓ MateriApps LIVE! のインポート
 - MateriAppsLive-*.ova をダブルクリック
 - VirtualBox が起動してインポート画面が開くので「インポート」ボタンを押す
 - 2～3分かかるが完了するとマネージャーが起動
- ホスト (ホストOS) : もともと動いている OS (Windows、Mac OS X など)のこと
- 仮想マシン (ゲストOS) : VirtualBox の中で動いている OS (= MateriApps LIVE!)

仮想マシンの起動 (VirtualBox版)



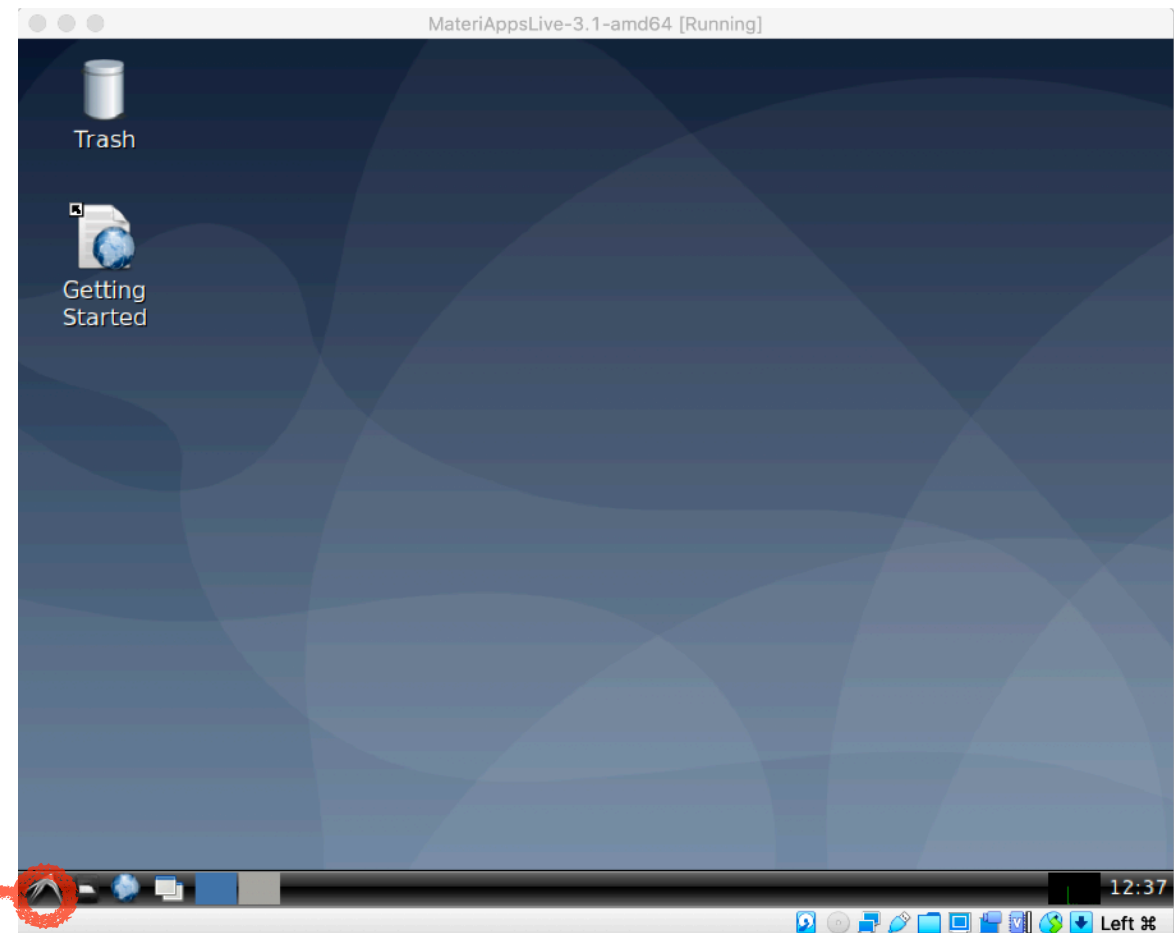
1. 「MateriAppsLive...」を選択

2. 起動ボタンを押す

3. ログイン画面がでるまでそのまま待つ

MateriApps LIVE! へのログイン (VirtualBox版)

- 下記の情報を使ってログイン
 - ユーザ名 (login): *user*
 - パスワード (password): *live*
- 右のデスクトップ画面が出れば成功



- スタートメニュー
- ターミナルの開き方
「スタートメニュー」⇒「System Tools」⇒「LXTerminal」
- 仮想マシンの終了 (シャットダウン)
「スタートメニュー」⇒「Logout」→「Shutdown」

キーボード・解像度設定 (VirtualBox版)

- ✓ キーボード: 日本語キーボード(「@」が「P」の右にある)を使っている場合
 - 「スタートメニュー」⇒「System Tools」⇒「Switch to Japanese Keyboard Layout」
 - 「@」が正しく入力できることを確認
- ✓ 仮想マシンウィンドウの解像度・スケールの変更
 - 解像度 (画素数): デフォルトでは「800 x 600」
 - スケール(画素密度): デフォルトでは「200%」
 - 解像度とスケールはホストOSの「ビュー」メニュー⇒「仮想スクリーン 1」から変更できる
 - VESTA, OVITO, ParaViewなどの可視化ソフトを使う場合は解像度を「1024 x 768」以上に設定するとよい
 - 文字が小さくて見にくい場合にはスケールを大きくする

ファイル共有・コピー & ペースト (VirtualBox版)

✓ ファイル共有: ホストOSと仮想マシン間のファイル共有

- 仮想マシンをいったんシャットダウン
- VirtualBox マネージャー画面で MateriAppsLive-* を選択し「設定」
- 「共有フォルダー」タブを開き、右側の「+」をクリック
- 「フォルダーのパス」の右側の「v」マークをクリックし、「その他」を選択。共有するフォルダーを選択、「自動マウント」をチェックし「OK」
- 仮想マシンを起動。上で選択したフォルダが、/media/sf_... の下に見える

✓ コピー & ペースト: ホストOSでPDFファイルからコピーした文字列を、仮想マシンのターミナル等でペーストする方法

- ターミナル上で右クリック ⇒ 「Paste」 (あるいは「shift + control + V」)
- 文字列のコピーは、右クリック ⇒ 「Copy」 (あるいは「shift + control + C」)

MateriApps LIVE! (Docker版)

- ファイル一式
 - setup.pdf (日本語), setup-en.pdf (英語)
 - このドキュメント
 - README.html, README-en.html
 - <https://github.com/cmsi/MateriAppsLive/wiki/MateriAppsLive-docker>
 - Docker Desktop インストーラ (macOSの場合)
 - <https://www.docker.com/> からダウンロード可
 - XQuartz インストーラ (macOSの場合)
 - <https://www.xquartz.org/> からダウンロード可
 - MateriApps LIVE! Dockerスクリプト: setup.sh
 - <https://malive.s3.amazonaws.com/malive.sh>

さあ、はじめましょう (macOS Docker版)

- ✓ Docker Desktop インストーラのダウンロード・インストール
- ✓ XQuartz インストーラのダウンロード・インストール・設定
- ✓ 共有フォルダの設定
- ✓ MateriApps LIVE! Dockerスクリプトのダウンロード・実行
 - `curl -L -O https://sf.net/projects/materiapplive/files/docker/malive.sh`
 - `sh malive.sh`
- 参考: <https://github.com/cmsi/MateriAppsLive/wiki/GettingStartedDocker>

さあ、はじめましょう (Windows Docker版)

- ✓ WSL2 (Windows Subsystem for Linux 2)のインストール
- ✓ Docker リポジトリの設定、apt-get の実行
- ✓ 共有フォルダの設定
- ✓ MateriApps LIVE! スクリプトのダウンロード・実行
 - `curl -L -O https://sf.net/projects/materiapplive/files/docker/malive.sh`
 - `sh malive.sh`
- 詳しくは <https://github.com/cmsi/MateriAppsLive/wiki/GettingStartedDocker> 参照

MateriApps 企画・制作

- 運営:

- 東京大学物性研究所計算物質科学研究センター (ISSP-CCMS)

- MateriApps 開発チーム

- 井戸康太 (ISSP)、笠松秀輔 (山形大理)、加藤岳生 (ISSP)、川島直輝 (ISSP)、藤堂眞治 (東大理/ISSP)、福田将大 (ISSP)、山崎 淳 (ISSP)、吉澤香奈子 (RIST)、吉見一慶 (ISSP)

- (委託) アカデメイア(小西優祐、野田真史、山田五太)

- 協力:

- 高度情報科学技術研究機構
- 計算物質科学人材育成コンソーシアム
- データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト